



ぼくたち 卒園したよ

3月22日 中央保育園卒園式



第 698 号
発行人●豊丘村公民館 館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村
(4月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,335人
女 3,369人
総人口数 6,704人
世帯数 2,156戸

立派に成長した我が子に ついほろり

三月二十二日に、中央・北・南の三保育園で卒園式が行われ、中央では三十一人、北では二十八人、南では六人の園児が巣立ちのときを迎えました。瞳を輝かせて飛び立つ子どもたちの立派な姿に、見守る大人たちの顔もほころび、終始和やかな雰囲気になりました。

先生方に感謝

豊丘村中央保育園
保護者代表

中村信吾

子ども達が無事卒園を迎えられることを、保護者として心より感謝しております。幼かった子ども達が今、静かに卒園式に臨んでいる姿には、目を見張るものがあります。初めて親子で遊戯室に入った三年前、不安そうに周りを見まわしてい

る我が子を見て、保育園に慣れて楽しく通えるかと心配したことを思い出します。そんな心配も一時で、身長とともに心も成長していき、どの子も活き活きと、そして集団生活を通して沢山の思い出や、友達という宝物を得ることが出来ました。ひらがなを真剣に書いている姿、園外保育の様子を、身振り手振りを交えて、目を輝かせながら教えてくれる姿、最後の運動会で見上げるほど高い竹馬に堂々と乗って、一歩一歩、歩いている姿に子ども達の成長を感じました。

毎朝、笑顔で元気いっぱい迎えてくれた先生方、さくら組の笑い声、歌声、元気な声が響く姿も見られなくなりました。子ども達は保育園を巣立ち、四月からは大きなランドセルを背負い、次のステージ・小学校へと進みます。六年後、大きく見えたランドセルが小さく感じるその日まで、子ども一人一人の歩幅に合わせて、成長を見守りたいと思っています。



いつもあたたかく子ども達に接し、元気を与えてくださった先生方には、心から感謝いたします。最後になりましたが、園長先生をはじめ先生方のご発展とご健康をお祈り申し上げます。また、卒園児全員が健やかに成長していくことが出来るように、心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。

教育委員会

事務局長交替

新教育委員会事務局長
森田 勝二



4月1日付けの人事異動により、教育委員会事務局長として、お世話になる事になりました森田勝二です。3月までは同じ教育委員

会内で、学校教育係長として、2年前より学校関係の業務を主として行っておりました。

今まで教育委員会という部署に配属されたことがなかったために、何もかもが新しい事ばかりで、十分に用語さえ理解できないままに、あつという間に2年間に過ぎてしまいました。そんな中で今回の異動となりました。当然としてこれから学校教育について

も携わっていきますが、更に社会教育・公民館活動についても、しっかりと学ばせていただきたいと思います。

昔、ある方が「公民館とはみんなが集まる、人と人をつなげる場だ」と言っていたことを思い出しております。力不足で皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あるかとは思いますが、一生懸命頑張りますので、何卒よろしくお祈りいたします。

前教育委員会事務局長
熊谷 透



この度三十九年間の役場生活を終え退職する事いたしました。

思い返してみますと、三十九年の間には数多くの課係を経験してきましたが教育委員会事務局は初めての経験で、右も左もわからない頼りない事務局長に多くの皆様からご指導とご協力をいただき、なんとか一年を終えることができました。

とにこの場をお借りして御礼申し上げます。年度当初に社会教育法にある公民館の目的を目にし微力ながらも少しでもお役に立てたらと考えてのスタートでしたが、一年を終え何ができたのか考えてみても、関係する皆様にご迷惑を多々おかけしただけだったと思います。四月からは教育委員会事務局も新体制となります。皆様には引き続きご支援とご協力をいただき、公民館が益々発展していくことをお祈りし、退任のあいさつとさせていただきます。お世話になりました。



段丘

食品ロスが国内で年間約650万トンにも達するという。食べ残し、売れ残り、消費期限切れ、規格品外等による廃棄である。他に天候変化による飲食店の販売量の低下、腐敗品などによる廃棄もある。非常に「もったいない」話だ。昨年大きな話題となった「恵方巻」は、今年は昨年ほどではなかったようだ。

生産者にしてみれば販売額を上げるために企画を立て、新たな消費ブームを作ろうとするが、消費者の胃袋には限界があり、必然的に売れ残りが発生する。一方では、世界中で飢餓に苦しむ人々がいる。

食中毒防止のため品質基準を厳しくすることは必要だ。贈答用として、見た目を重視することはある面、仕方ないかもしれないが、規格外品は家庭用として需要がある。問題は、①経済的損失、廃棄などへの費用の増加(廃棄のためには税金を宛てがい、結局は消費者が負担する)、②環境負荷の増大等になると思う。

対策としては、①食材を買いすぎず、調理や保存を上手にし、食べ残しのない適量を心がける、②賞味期限や消費期限を考えて利用する、③外食での食べ残しを防ぐ等が考えられる。

「もったいない」を世界の共通語にしようとする運動が広がっている。またフードバンク(規格外品を福祉施設等へ提供する活動)もあるという。これらの連鎖で大きな成果になることを期待したい。

(桐崎長二)

村の小中学校教職員異動

学校に新たな息吹

転出・退職

◆南小学校

小林 俊二（退職）

中村 りみ子（退職）

豊丘南小へ（再任用）

唐澤 美子 竜丘小へ

片桐 智子 伊賀良小へ

村澤 由笛 上郷小へ

都富 浩貴 下條小へ

島尻理恵子（新規採用）

南部小（南箕輪村）へ

◆北小学校

小川重希子 大鹿小へ

転入

◆南小学校

黒田 敏樹

高遠青少年自然の家より

壬生 克浩 上久堅小より

鈴木有紀子 浜井場小より

荒木 優哉 丸山小より

栗野 朱音 新規採用

友野 里奈 新規採用

尾曾 恵子 新規採用

◆北小学校

有賀圭太郎 新規採用

中嶋 翼

川上第二小（川上村）より

中塚 賢一 鼎小より

毛涯 計人 丸山小より

清水恵美子 松川北小と兼務

豊丘中と兼務

◆中学校

小林 晋

竜峡中より

北原 タミ 下條中より

金澤 由佳 高森中より

江木孝太郎 天龍中より

古田 翔子 新規採用

林 伸圭 松川中より

緑ヶ丘中、売木中兼務

清水恵美子 浜井場小より

北小と兼務

小原 美保 新規採用

シリーズ「元気な高齢者」⑤⑤

小さな体に秘めた密かな闘志
で乗り切った波乱の人生

松下みつえさん

八十八歳

北市場一在住



養蚕及び茶葉を主に栽培する両親のもと、昭和五年に現在地から少し離れた城部落で男四人、女二人の六人きょうだいの次女として生まれ、家族水入らずで平和に過ごしていた。そんな生活が大きく変わったのは小学校六年生の時、昭和十六年十二月のことだった。第五次満州開拓団として家族八人で、山田地区、佐原地区を含め計八軒で満州へ渡ったのだ。下関、釜山を経由し満鉄で現地へ入った。小学校の修学旅行に行けなかったこともあり、まさに修学旅行気分がウキウキしていたのを昨日のよう

に覚えている。現地入りした当初は鶏、豚などを飼って五十町歩の農地で馬を使ったり、大豆、小豆他多くの作物を栽培し、ゆとりある生活をおくっていた。しかし次第に戦争の影響が濃くなり、米、砂糖などが配給となり窮屈な生活へと変わり、やがて運命の二十年八月の終戦を迎えた。現

を寄せていたが、その時の常会長の世話により、仮住まいを建て約十年間暮らし、その後、城に移り十数年生活した。みつえさんは、天龍社及び愛知県織屋に計十八年ほど勤めた後帰省し、昭和三十六年に河野出身で二歳下で左官業の等さんを養子に迎え結婚した。みつえさんは市田通信、飯田の熨斗屋、最後の丸昌を七十歳で退職するまで計三十三年間働いた。現在地へは五

が、本人はいたって元気である。仕事に励んでいた頃は、農協主催の旅行に多く参加し、北海道から沖縄まで全国を歩き回ったことが懐かしい思い出だ。

現在の楽しみは時代劇や相撲をテレビ鑑賞することであるが、近所の同年代の仲間との何気ない世間話は何よりの楽しみであり健康の元だ。新聞を読む時にはメガネを使用するが、それ以外では掛けずに針仕事も行っている。聴力は良好、更にバイクにも乗っており道の駅までも時々出かけている。この年齢でもあり家族からも注意されるが、なかなか手放せないでいる。長男森林組合に勤めたが晩年は体調を崩し自宅介護の末、八十七歳で亡くなった。

父亡き後、男勝りの働きで家族を支えてきた母は、長年森林組合に勤めたが晩年は体調を崩し自宅介護の末、八十七歳で亡くなった。

みつえさんは二年前に胃の手術を受け、全摘出したため小食となった分、食事の回数が増えている。結果体重は約十三kg減り周りの人に心配されることが多い

が、仕事や用事で来られなかつたり遅かつたりは多少大丈夫です。お待ちしております。

文責 桐崎 長一

虻川下流域三六災害体験談(2)
橋の上を水が乗り越え流れた

聞き手 原 章（古畑）

「虻川の川の中に上流から流れてきたたくさんの物がたまり、その元凶となつた虻川橋を「爆破して撤去して欲しい」という要望が出されたことが、豊丘村史に載っていますが、そのことはどう記憶されていますか？☆

「そういう話は当時あったのかもしれないが、爆破の話は聞いてはいなかった。消防の衆が橋のたもとへ何人も待機してくれていた。」



虻川橋手前の、河岸浸食による陥没
（天竜川上流河川事務所ホームページより）

公民館登録グループ活動紹介 第18回

踊りの会継続を願って

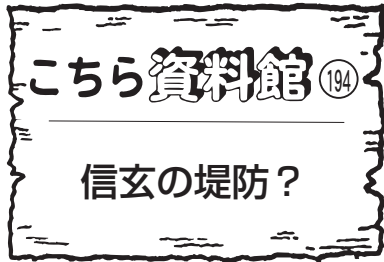
豊菊会 南市場 伊藤むつみ

二月十七日公民館祭りが盛大に開催され、登録されている多くの団体が発表されました。多くの方々が大勢参加され盛大なお祭りとなりました。私共豊菊会も舞踊グループとして参加し皆様の暖かい拍手を頂きました。

豊菊会は現在三名で活動していますが、人数が少ないのが悩みで、踊りをやりたい人がいたらいいのになあとも思っています。ゆめあるてという良い稽古場もあります。お金も少しで済みます。若い方は今から



練習は月一回八時から（先生のご指導あり）。あとは自主練と言う事で毎週七時半からです



写真①は河野筏の『二の劔』に残る昔の堤防跡です。近くには水防用の杉林や九頭龍権現の碑があり、この辺が古くより天竜川から河野新田を守る重要な場所であつたことがうかがえます。

写真②は明治二年にこの付近一帯の堤防を改修した時の絵図です。(村史下巻口絵より転載)『劔』と呼ばれる突堤が幾つか築かれ、写真①の堤防跡は左から二番目のものと思われまふ。このように、『劔(霞提)』を連ねた堤防は「信玄提」とも呼ばれ、甲斐市竜王に残るものが有名です。しかし、築

堤に武田信玄が直接関与したかどうかは定かでないとのことですが、筏『二の劔』堤防についても、その元は信玄が造らせたものではないかとの説があります。また、暴れ天竜の洪水による被害を最小限にとどめようとする土木技術は、信玄よりずっと前からあつたに違いありません。『二の劔』堤防もそのような治水工事の遺構の一つです。石



写真①



写真②

つと考えられます。ちょうど今、周りの樹木が切られ、繁茂していた草も除去されて、『劔』の石積みがよく見える状態になっています。関心のある方はご覧下さい。筏水防小屋の裏手です。石

積み崩れやすくなつていきますので足元と履物に留意ください。いよいよ平成の時代も終わり、新しい時代が始まります。そんな年に私達とよおかウインドアンサンブルは結成十周年の節目を迎えます。これからも皆様へ素敵な演奏を届けられるよう日々練習に励んでいきたいと思ひます。

最後に日頃より私達の活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。また、演奏会に足を運んでくださいました皆様へ心より感謝申し上げます。

私達とよおかウインドアンサンブルは三月二十四日ゆめあるで大ホールにて第九回スプリングコンサートを行いました。今春は年号が変わる節目。平成最後の演奏会となるこのコンサートでは、「昭和と平成」をテーマにそれぞれの時代の名曲や懐かしの曲を演奏させていただきました。私達とよおかウインドアンサンブルは三月二十四日ゆめあるで大ホールにて第九回スプリングコンサートを行いました。今春は年号が変わる節目。平成最後の演奏会となるこのコンサートでは、「昭和と平成」をテーマにそれぞれの時代の名曲や懐かしの曲を演奏させていただきました。

集い 楽しみ 学ぶ公民館に

2019 年度の主な公民館事業をご案内します

【文化事業】

◆公民館学習会

健康、福祉、平和、人権など、全10回にわたる連続講座を開設します。(5月～3月)

■日本語教室

外国人住民の日本語習得を支援するとともに、国際交流イベントを開催します。(6月～12月)

■時事問題セミナー

リニア、三遠南信道開通など変革の時代にあって地域の持続可能性を考える3回の連続講演会を開催します。(6月～7月)

■Lets play in English (新)

「英語で遊ぼう」をテーマに、小学1～4年生を対象としたイベントを年数回開催します。初回は5月12日。(5月～2月)

■親子セミナー

親子のふれあいを大切にするファミリーコンサート、親子運動遊び、親子クッキングなどのセミナーを開催します。

■秋の星空観測会(新)

秋の澄んだ星空を、天体望遠鏡を使って覗いてみよう。(10月5日)

■夏休み人形劇

子どもから大人まで楽しめる人形劇団むすび座による大型人形劇「かくれ山の大冒険」。(8月11日)

■武田信玄狼煙上げ

戦国時代の通信手段であった狼煙上げを飯伊から諏訪までリレーします。(8月31日)

■とよおか金時寄席

三遊亭金時師匠による人情噺をお楽しみに。(9月28日)

時代の節目に

小園 大澤 貴寿

私達とよおかウインドアンサンブルは三月二十四日ゆめあるで大ホールにて第九回スプリングコンサートを行いました。今春は年号が変わる節目。平成最後の演奏会となるこのコンサートでは、「昭和と平成」をテーマにそれぞれの時代の名曲や懐かしの曲を演奏させていただきました。

第一部では、吹奏楽曲コンクールの課題曲を昭和、平成から二曲ずつ選曲しました。小学生から六十代まで幅広い年齢層のいる当団では課題曲から選曲するのも一苦勞。それぞれの年齢で課題曲に対する思い入れも違い、選曲の際には、その当時の思い出話に花が咲きました。観客の皆様には聞き馴染みのない曲ではあつたかと思いますが、吹奏楽のために作られたオリジナル曲の良さを感じ取っていただけたのであれば幸いです。

第二部では七十、八十年代に大ヒットした名曲を詰めた「昭和歌謡コレクション」や平成生まれの超有名曲をメドレーにした「平成メガコレクション」といった平成と昭和の聞き馴染みのある歌謡曲を中心に演奏いたしました。それぞれの時代を彩った名曲たちを楽しく演奏することができました。本演奏会に向けた練習は

一月からやってきましたが、なかなか人がそろわない状態の中で正直不安な点もありました。しかしながら、本番ではみんなが集中して力を出しきり、練習以上の演奏ができたのではないかと感じております。

今回の演奏会では東京や関西の遠方から、私が中学生の時に吹奏楽部で共に活動していた仲間も帰省し、一緒に演奏することができました。演奏会のために帰ってきてくれる仲間がいるということがこの団の温かいところだと改めて感じました。

いよいよ平成の時代も終わり、新しい時代が始まります。そんな年に私達とよおかウインドアンサンブルは結成十周年の節目を迎えます。これからも皆様へ素敵な演奏を届けられるよう日々練習に励んでいきたいと思ひます。

最後に日頃より私達の活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。また、演奏会に足を運んでくださいました皆様へ心より感謝申し上げます。

私達とよおかウインドアンサンブルは三月二十四日ゆめあるで大ホールにて第九回スプリングコンサートを行いました。今春は年号が変わる節目。平成最後の演奏会となるこのコンサートでは、「昭和と平成」をテーマにそれぞれの時代の名曲や懐かしの曲を演奏させていただきました。



第一部では、吹奏楽曲コンクールの課題曲を昭和、平成から二曲ずつ選曲しました。小学生から六十代まで幅広い年齢層のいる当団では課題曲から選曲するのも一苦勞。それぞれの年齢で課題曲に対する思い入れも違い、選曲の際には、その当時の思い出話に花が咲きました。観客の皆様には聞き馴染みのない曲ではあつたかと思いますが、吹奏楽のために作られたオリジナル曲の良さを感じ取っていただけたのであれば幸いです。



人形劇公演実行委員

大募集!

子どもたちに豊かな人形劇の文化を届けたい、そして私たち大人も楽しめるものに。今年は、日本を代表する人形劇団むすび座(名古屋市)を招いて、『かくれ山の大冒険』というスケールの大きな作品を8月11日(日)に計画しています。

ついでに、この公演の実行委員会スタッフを広く募集します。人形劇に興味がある方、子どもさんのためにちょっと力を出したい方、5月中旬から本番まで2回ほどの会議を予定しています。お問い合わせは公民館(☎35-9066)まで。



家族の幽霊

茶臼山人

正法に不思議なし。幽霊の正体見たり枯れ尾花と言われ、世の中の不可思議現象はことごとく認識不足、価値感の相違等の考え方のもとに簡単に一蹴しようとする素朴唯心論とでもいうべき行き方が、果たして妥当というべきであろうか。それはさて置き、私が小学校の低学年であつた頃、母から聞かされた昔の話の一つを記憶の糸をたぐって記してみよう。

私の母は河野の大宮神社の傍にあつた家にて生まれ育つたのであつたが、その実家の隣の家に起きた面妖な事件である。

時は明治維新の大業が推進されて、諸般の改革が進むに伴い混乱等も生じ、世は物情騒然としているうちに、かの廃仏毀釈の暴挙も断行された頃のことであつた。それはこの隣の家に元氣なおばあさんがあつて、毎年、大の仲良しの友達二人と大鹿村の釜沢の鉱泉に入浴に

行きつづけていたが、ある年また出かけようとしたところその日はあいにく天候が悪かつたので、家族が一応出発を見合せたらと話したが、おばあさんは歩きなれた道だからと言い、三人連れにて出かけた由。

そこでは家の人たちは全く一驚を喫して一隅に身を寄せ合い正視するに忍びず呆然として居続けたという。

しかしその幽霊が敵意を抱き怨念に固まつた亡霊ではなくして、懐かしいはずの家のおばあさんの変わり果てた姿なので、恐ろしいやらいたましいやら、何とも名状しがたい思い出いつばいだつたとのこと。そしてその幽霊はいつも最後には奥のお仏壇の中へ静かに入って消えてしまつたとのことであつた。

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.184

カヤネズミ
(ネズミ科)



今から四十三年前の一九七六（S五十二）年。宮下稔さんは阿南町深見で巣と幼獣一頭を主人から受け取った。今まで見たこともなかったのが発見されたので保育社の図鑑を見て驚いた。そこには「長野県では平谷（二〇〇m）に生息する由」という記述しか見あたらなかったからだ。しかし、完全に疑問が解けた

のは九年後の新聞記事「長野県では初めて諏訪で発見された」だった。その宮下さんは、最近次のように書いている。「分布を広げてきたのか、もともと分布していたが発見されなかっただけなのかは分からない」と。あまりにも小さかった（成獣でも七、八グラム）からと。ちなみに、私は、まだ巣（写真）でしか確認できていない。

（山田 栞）

2019年度公民館学習会

年間計画

回	月 日	内 容	講 師
1	5月16日 (木)	開講式 「手話ダンスの世界」	手話ダンスアーティスト MIWA(深澤美和さん)
2	6月11日 (火)	バスハイク (安曇野美術館めぐり)	
3	7月18日 (木)	「語り継ぐ満蒙開拓」	三沢亜紀事務局 久保田諫さん
4	8月20日 (火)	「高齢者の防災 ～雨・地震から身を守る」	飯田市危機管理室 係長 後藤武志氏
5	9月20日 (金)	「童謡唱歌を歌いましょう～秋」	長野県童謡唱歌を歌う会 会長 清水正則先生
6	10月24日 (木)	「認知症の方との接し方」	はやしの杜 服部美秀先生
7	11月27日 (水)	「楽しく学ぼう人権基礎講座」	南信教育事務所飯田事務所 主任指導主事
8	1月9日 (木)	「軽スポーツで脳の活性化」	南信教育事務所飯田事務所 指導主事
9	2月6日 (木)	「仏の知恵を 暮らしに生かす part3」 ～終活に向けて～	天台宗瑠璃寺住職 瀧本慈宗氏
10	3月3日 (火)	「身体のお手入れ」 「お楽しみ～茶話会」 閉講式	健康運動指導士 牧内隆雄先生 劇団ふたりずら

◆場 所 豊丘村交流学習センターゆめあて
◆学習時間 午後1時20分から3時まで

お問い合わせ：公民館 35-9066

公民館主事交替

笑顔あふれる活動を目指して
新公民館主事
松村 佐織



公民館主事を命ぜられ公民館とは？社会教育とは何かを考えてみました。困りました。はつきりとした形が浮かんできません。「ボーッ

と生きてんじやねーよ！」と、五歳のおかつば頭のかわいい女の子に叱られそうなくらい、仕事と家庭との毎日を過ごしてきた私の頭の中は固まっています。

ですが、今まで発行されてきた公民館報を開きますとお子さんから百歳近いおじいさん、おばあさん、村民皆様の素敵な笑顔があふれています。雑駁ですが、この笑顔があふれる機会を

作ることが四月からの私の仕事かなあと思いました。諸先輩方のご指導を仰ぎながら一日でも早く一人前になれるよう努めて参ります。どうぞよろしく願います。

元氣な村づくりは公民館から

前公民館主事
原 みほ子



三月三十一日をもって、退職いたしました。十一年間、多岐にわたる公民館・社会教育事業に、昼に夜に休日に突っ走って参りました。公民館グループの皆様、学習会の会員の皆様、様々な委員会でお世話になった皆様、感謝の気持ちで言葉で言い表せないくらいです。

四月からの道がはつきりしませんでしたので、直接お礼とお別れのご挨拶ができません。誠に申し訳ないです。

せんでした。

公民館は、自分たちの意思で集まり、様々な学びや趣味を楽しみ、仲間とのコミュニケーションを培っていくところです。それが元氣な村づくりに繋がっていると信じています。ステージ発表や作品展は他町村からも「豊丘はレベルが高い」と高評価をいただいています。その素晴らしい公民館で皆様と共に過ごせたことは一生の宝物です。今後はグループの一員として公民館を盛り上げていきたいと思っています。本当にお世話様になりました。

俳句 短歌

啓蟄や工事の径へ日の匂い
春の雨写経の無の字ねんごろに
臥す友に見せてあげたし迎春花
段丘に春をつれくる雨激し
友送り梅の花のみ咲き誇る
福寿草ささやくような微動かな
薪ストーブ匂ひ立つ家に回覧板
紅梅が守つてをりし旧家跡
路の臺土のいのちの匂いたつ
春の古布藏のかほりと母の香と
春愁の心弾けるボーリング
春を病む葉に夫の百面相
冬川の藍縷りて地震走りけり

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 公
宮下 純子
林 恵美子
丸山 時子
北原 昭子

いまはなき 幻の花木



平成13年頃の桜の若木

四月は桜のシーズンで村内もおおいに賑わう。豊丘村は銘木古木に恵まれた美しい村だ。里に咲く桜をはじめ、山道に沿って深く入れば、集落には昔から大切にされてきた大木が姿を現す。



今では見ることのできない桜の巨木



ここ佐原地区にも風光明媚な場所がある。昭和の頃には佐原分校として、児童数四十人以上を教える学校があり、遠くは大満沢からも通学してきていた。学校が統廃合してから、片道一時間以上かけて本校に通学した友人は語るが、今でもこの頃の児童は、足が丈夫で現役でも元気に活躍している。

区民会館の隣には当時の体育館があり、校庭には遊具の姿が残っていた。さらには校庭の片隅に植えられた桜の木も、校庭を覆うように枝を張り、見事な景観となっていた。西に目をやれば遠くにはアルプス。桜とベストマッチする景色によく足を運んだものだ。眼下を見れば里の雰囲気、満ちあふれたのどかな春が、優しい風に花びらを舞い上げさせていた。

写真／文 宮下正弘

（とよおか）短歌会

古希迎え憩の家で入浴しむかし話に友と憩えり
松下 泰見

花一輪冬の陽かえして庭に咲く平成最後を飾る山茶花
毛涯百合子

下駄箱に母の遺しし日傘ありレースの染みを洗って使う
筒井 恵子

詩いたこと花の名前も忘れしが春の陽浴びて青き芽のぞく
福澤貴美恵

住みて来し半世紀余りこの家を終の棲み家と郷にも馴染む
松尾ヒサコ

東日本大震災後八年過ぎたる今もなおテレビに映りし津波の脅威
壬生 千春

味噌汁はインスタントも美味いけど我が家の野菜たっぷりが好き
大原真由美

激戦地次々赴き慰霊さる今上天皇退位ま近かし
大倉 知江

豆苗の三度目の芽吹きを楽しみて今朝も水替えトレイ栽培
北澤 秀子

いつしに父に似て来し耳朶に手をかざし聞くくせ年齢近く
福澤 龜人

〈豊丘村川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「肥」 久保ひろし 選

肥えた耳半音違い許さない 林 もも子
見て聞いて肥やしにしている好奇心 西元 峯子
人生は苦勞辛抱身の肥やし 福沢 勝美
軸吟…寒肥が効いて徒長枝長く伸び

▼課題「色」 互 選

古里の我が家の色でお持てなし 市沢 照子
色物が箆笥を守り眠ってる 安田 喜子
貧しくも虹色だった昭和の子 原 美風
タレントも政治家も皆色と欲 山本 義彦
▼自由吟 福沢勝美 選
あちこちでチェーンの音楽樹切られ 桃沢 健介
激動の平成静かに暮おろす 久保ひろし
軸吟…沖縄の民意肅々踏みじり